

## 米国大統領選挙・連邦議会選挙と市場動向

### 株式市場は経済対策に期待

2020年11月4日

\*本レターは日本時間11月4日正午時点の情報に基づいて作成しています

## 米国大統領選挙・連邦議会選挙の投開票始まる

米国時間11月3日、いよいよ米国大統領選挙・連邦議会選挙の投開票が始まりました。日本時間11月4日正午時点では、一部の州で投票の終了予定時刻になっておらず、まだ投票が継続しています。

11月3日の米国市場では、株式が大きく上昇し、債券利回りも上昇、為替は米ドル安でした。投票日直前の世論調査でも大統領選挙で民主党のバイデン候補が引き続き優勢だったほか、接戦とみられている上院でも民主党が過半数を取るとの観測が浮上しました。下院は民主党の過半数獲得が濃厚とみられていることから、大統領・上院・下院の全てを民主党が制することになり、民主党が提唱している大規模な経済対策が早期に実施されるのではないかと観測が高まったようです。

11月4日の東京市場も、米国市場の動きを受けて株高が進んでいます。日経平均株価は、前営業日比で一時的に500円超の上昇となりました。しかし、焦点のひとつとみられているフロリダ州が、トランプ候補の巻き返して予想以上の接戦になっていると報道されたことや、上院はやはり互角との観測も強く、市場では徐々に様子見姿勢が広がっているようです。

今回の選挙は、かつてないほど郵便投票を含む期日前投票が多くなっており、それらの州ごとの開票タイミングなども注目されています。微妙な形勢が郵便投票の結果によって変わるようなことがあれば、不利な陣営から結果に対する疑義が呈される可能性もあります。金融市場では、裁判などで結果の判明が遅延することが大きなリスクとみられているため、どちらが勝つにせよ早期に決着すれば市場の安心感が高まると考えられます。

### 米国大統領選挙・連邦議会選挙の開票状況

| 大統領選挙               | トランプ候補（共和党） | バイデン候補（民主党） |
|---------------------|-------------|-------------|
| 大統領選挙人：計538人<br>獲得数 | 72人         | 89人         |

  

| 連邦議会選挙                         | 共和党            | 民主党            |
|--------------------------------|----------------|----------------|
| 上院：定数100議席 獲得数<br>(括弧内は非改選で内数) | 36議席<br>(30議席) | 40議席<br>(35議席) |
| 下院：定数435議席 獲得数                 | 108議席          | 73議席           |

※日本時間11月4日正午時点

(出所) 各種報道より大和アセットマネジメント作成

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。